

災害注意喚起  
連載企画

防災・防犯  
地震などの災害に備え、注意事項や役立つ情報を、今号から6回連続で紹介していきます。

第1回  
「突然の地震!!」  
そのときのために



▲熊本県益城町内の被害状況。(撮影：国立市職員)

地震はいつ襲ってくるかわかりません。地震が発生した際、どのように行動するかを日ごろから考え、いざというときに「慌てず、落ち着いて」行動できるようにしましょう。

地震発生時の行動

- ①揺れを感じたら、まず、身の安全を最優先に行動する。
- ②物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。
- ③屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

地震直後の行動

- ①出火時には火元を確認し、落ち着いて消火する。
- ②窓や戸を開け、避難ができるよう出口を確保する。
- ③屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。(靴やスリッパを履く)

揺れがおさまってから行動

- ①テレビやラジオ、行政などから正しい情報を得る。
- ②家を出る前にブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難する。
- ③自宅の安全を確認後、近隣の安全を確認する。
- ④倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救助する。

国立市防災マップについて

市役所1階の防災安全課および、市ホームページで入手できます。  
お問い合わせ 防災安全課防災・消防係

立川消防署からのお知らせ  
6月5日(日)～11日(土)は  
危険物安全週間です

「危険物 ルールを守って 安全に」  
作者 山口 恭史さん(新宿区在住)

私たちの身の回りには、使用方法等を間違えると火災を引き起こす物質(危険物を含む製品)がたくさんあります。その危険性を意識せずに使用したことで、火災が毎年発生しています。  
職場や家庭内においては、危険物を含む製品の使用上の注意事項をよく読むなど、身の回りにおける危険物の性状および正しい使用方法を十分に理解し、事故を防止しましょう。

ガソリンを取り扱う際の注意

- ①火気のある場所では使用・保管しない。
- ②換気の良い場所に保管する。
- ③冷暗所に保管する。
- ④試験に合格した携行缶を使用する。

お問い合わせ 立川消防署

☎0119

「地区防災まちづくり事業」の  
対象地区を募集します

市では、皆さまの居住地や商店会など一定の広がりを持った地区において、災害の予防・応急対策を総合的に進め、災害に負けない、安全な生活環境をつくっていきたくと考えています。

このため、市と協力して地区防災計画書を策定し、家庭・通り・地区における防災対策の実施や、居住者の啓発活動などについて、積極的に取り組んでいただける地区を次のとおり募集します。  
対象地区 市内の自治会・町会、団地、商店会、そのほか一定の広がりや有する任意の地区  
※事前に、本事業に取り組む体制を有していることが必要です。

事業期間

策定後、2～3年の実施を予定  
内容 地区の現況把握、防災マップ作成、地区防災計画の策定、防災まちづくり事業の企画・実施  
申込 6月24日(金)までに、地区の意向、連絡先を担当係へ電話または直接お伝えください。後日、打ち合わせをお願いします。  
※申込多数の場合は、話し合いにより取り組み方法等を決定します。

お問い合わせ 防災安全課防災・消防係

☎527-4828

雨水浸透ます設置助成金  
交付制度のご案内

市では、下水道管に流れ込んでしまう屋根雨水を抑制するために「雨水浸透ます設置助成制度」を設けています。雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を下水道に流さず、地下に浸透させるためのものです。雨水を地下に浸透させることで、湧き水など自然環境の保全を図ることができます。

- 対象 市内にある既存建物(新築、増築または仮設されたものは除く)を所有される方、または所管下水道課下水道業務係
- 助成金額(1基あたり)
  - 内径25cm…2万9千円
  - 内径30cm…3万4千円
  - 内径35cm…4万8千円
- ※制度内容や工事に関することなど、詳しくは担当係へお問い合わせください。

お問い合わせ 下水道課下水道業務係

「国立市環境ネットワーク  
パネル展」を開催

市内で環境活動を行う団体の取り組みを紹介したパネル展を開催します。市内の桜の木を再利用したベンチや身近な生き物の写真など、各団体の活動を紹介する予定です。市役所にお越しの際は、ぜひ、ご覧ください。

日時 6月20日(月)～24日(金)  
場所 市役所1階西側市民ロビー  
お問い合わせ 環境政策課環境政策係

6月1日(水)～30日(木)は  
浸水対策強化月間です



東京都下水道局では、雨期に向かう6月を「浸水対策強化月間」と定めています。下水道施設の安全性の確保と、都民の皆さまの防災意識の向上を図る取り組みを行っています。また、東京の雨がひとめでわかる「東京アメッシュ」をインターネットで公開しています。

HP <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>  
お問い合わせ 東京都下水道局流域下水道本部  
☎527-4828  
または市役所道路下水道課下水道業務係

「くにっこミニ」増発のお知らせ



6月1日(水)から、コミュニティワゴン試行運行「くにっこミニ」青柳ルートが、矢川駅から運行しています。「ジョナサン」前の「⑨矢川駅停留所」の発車時刻は午前7時30分です。青柳地域への通勤などにご利用ください。

なお、「⑬武蔵野の路」停留所以降の時刻は、これまでと同じです。  
お問い合わせ 交通課交通係

旧国立駅舎再築物語  
国立学園都市の  
都市計画の特徴

「箱根土地の開発手法の特色」  
国立学園都市を開発した箱根土地株式会社(以下、箱根土地)の開発手法は、とてもおもしろいものでした。国立学園都市と同時期に開発された、東京のほかの郊外住宅地の手法と比べると、その違いがはっきりします。

箱根土地以外の企業は、起伏のある土地に小規模の開発を行っていたのに対し、箱根土地は、平坦な土地に大規模な開発を行い、街路を基盤の目のように配したまちをつくり上げています。また、箱根土地以外の企業は、変化に富む景観やまちの箱根土地は、明快な景観やまちの広がりを重視しています。

田園調布と比較すると、その違いは明確です。国立学園都市は、どの街区も同じようにつくられ、幅員の広さなどの街路の階層構造がはつきりとし、ランドマークとして旧国立駅舎がつけられたことなど、とてもわかりやすいまちとなっています。他の学園都市と比較しても、大学をまちの中心に据え、象徴的な存在として位置づけている点が特徴的です。

旧国立駅舎の内観写真等を探しています  
大正15年当時の旧国立駅舎の内観(室内等)を撮影した写真を募集し、旧国立駅舎再築事業の資料として役立てたいと考えています。資料をご提供いただける場合は、担当係までメール・ファクス・電話等でご連絡をお願いします。

お問い合わせ  
国立駅周辺整備課  
国立駅周辺整備担当  
sec\_kuniseh@city.kunitachi.tokyo.jp